

2022年12月27日

にじの会利用者・ご家族の皆様

にじの会関係者の皆様

にじの会理事長 石崎優仁

4回目の新型コロナウイルス施設内感染収束の報告

第8波の感染拡大の中で、にじの会では4回目の施設内感染が発生致しました。感染拡大防止の措置をとり、感染は当初の感染発生部署のほか1部署に留めることができ、12月26日に利用者1名以外の隔離を解除し通常的生活・活動に復帰しております。

1. 施設内感染状況

- ① 感染者は、利用者10名・職員8名 計18名です。
- ② 感染発生部署は大沢にじの里2F生活フロア、ホームにじの空、ホームにじの3生活部署と、大沢にじの里、未来工房にじの2つの日中活動部署です。
- ③ 感染経緯
 - ・12月10日に未来工房職員が発熱しPCR検査で陽性が確認されました。陽性職員の所属する未来工房の利用者4名と職員1名に感染し、合同活動していた大沢にじの里職員3名にも感染が拡がりました。
 - ・12月13日に生活部署「大沢にじの里2F」利用者1名が陽性となり、生活職員1名・日中職員2名に拡がり、2F生活利用者2名にも感染しました。
 - ・合同活動の職員の所属する大沢にじの里の利用者2名が陽性になり、中1名の生活部署ホームにじの利用者1名にも感染が拡がりました。
 - ・今回の陽性者は、感染後1～3日後に陽性になるケースが多く、症状は38度前後の発熱と喉の痛みがあるケースも一部出ていますが、無症状を含め全体には軽い症状が多いようです。

2. 感染拡大防止対策と事業再開の状況

- ① 各事業所の拡大防止策と事業再開状況
 - ・大沢にじの里2F生活フロアは利用者の個室隔離を実施しましたが、陽性者以外は濃厚接触者の待機期間が経過した17日から通常生活を再開しています。陽性者も26日に隔離解除になりましたので、短期入所も再開しました。
 - ・大沢にじの里・未来工房にじの日中活動は、陽性者のいる工房・グループを12月15・16日休止し、19日に利用者・職員の陰性確認をして再開しています。
 - ・にじの会の3ホームの生活支援は、陽性利用者の個室隔離を実施しました。「ホームにじの空」は陽性利用者の隔離期間が終了したので26日から通常生活を再開して

います。「ホームにじの森」は22日に濃厚接触者待機期間経過となり通常生活に復帰しており、「ホームにじ」は1名の隔離陽性者以外は24日に隔離解除ができています。

②事業を継続した事業所の状況

- ・にじアート生活介護事業は、陽性者・濃厚接触者以外は通所し活動を継続しています。
- ・にじアート放課後等デイサービスは、事業を継続していますが陽性者は発生していません。
- ・ワークショップハーモニーも、事業を継続していますが、陽性者は発生しておりません。

3. 今回の施設内感染の発生要因と拡大防止成功の要因

- ① 今回の施設内感染は未来工房職員と2F生活利用者から発生しましたが、具体的な感染原因は把握できていません。
- ② 今回の施設内感染は職員の合同活動等で他部署に拡散してしまいましたが、2日間の日中活動休止で、それ以上の感染拡大は防止できました。
- ② 隔離場所支援の職員の感染防止は、大沢にじの里職員1名の陽性者が発生しましたが、陽性利用者の発見前の感染と見ており、隔離陽性者支援での感染は防止できていると判断しています。

以上のような施設内感染の経過です。今回の第8波は継続して拡大中ですが、インフルエンザとの同時流行の危険も言われています。今後、「with コロナ」での事業運営では、感染予防策とBCP対応力を一層強化し、施設内感染発生時の短期収束力の向上が必要になっています。